

学びの風景(その2)

2022.5.16(月)

教室に入ります

教室は2階にあります。
階段をのぼって、引き戸を開けると、すぐ教室の中です。
廊下とか控え室などはありません。すぐ、勉強体制に入ります。

「こんにちわっ！」とあいさつをして…
自分名前の付いているファイルが置いてある席につきます。
といっても、生徒は3人か4人…
1人や2人のときもあります。
3人の組で、2人が曜日変更すると1人のクラスになってしまいます。
そうです。レッスンの曜日変更は自由です。

学習の準備です

先生からアルコールティッシュをもらい、机の上と椅子の背もたれを消毒します。
筆記用具、プリントのファイルを出します。
きょう学習すべき教材は、個人毎に机の上にセットしてあります。
数専ゼミの授業は、ピアノとかバイオリンの個人レッスンを思い浮かべていただければいいかと思えます。
90分のレッスンです。

学習は、おおむね、次のプロセスで進みます。

学習計画書

単元の学習の最初には、「学習計画書」がついています。
これには、この単元で解けるようになるべき問題の解法タイプがリストアップしてあります。
これらは学習の目標です。体系的＝系統的に配列された問題群です。教科書や問題集よりも、はるかに詳しく設定してあります。比べていただければ誰にもすぐわかります。
サンプルは、こちらからご覧になれます。→ [Sample](#)

0 復習

前回に解けなかった問題の再テストから始めます。
家で勉強してきた人は、なんなく解きます。同じ問題ですから。
家で勉強してこない人もいます。

そういう人は、フツーは解けません。

1回解き方を理解しただけでは解けるようにはなりません。

ここをはき違えて、前回に解けたと勘違いしている人は、解けなかった問題を練習してきませんから、また、解けません。

だから、また、きょうも覚え直します。

これを繰り返している人は、勉強が先へ進みません。当然、成績はあがりません。

家で、解けなかった問題を解けるように練習すること…この学習だけが学力を高めます。

解けないを解けるようにするのですから、あたりまえのことです。

この当たり前ができない人は、塾で学んでいても、勉強している割に効果ができません。

1 ★解法の技術★を覚える

例題（★解法の技術★）を自分で学習し、問題の解法を理解し、覚えます。

教えられたものはすぐに忘れます。

自分で学び取ったものは、自分のいままで育てた知識の網の中にしっかりと固定されるので忘れないし、自在に使える知識になります。

問題の考え方や解き方の説明の部分で理解できないところは、先生に、

「ここ、よくわかりませんが…」とプリントを出して、説明してもらいます。

解きっぱなしにしないのが、数専ゼミ式の問題演習学習です。

例題と同じ問題、あるいは数値だけが違って、考え方はそっくりな問題で理解のチェックをします。

答案を書いたら先生のテーブルの上に置きます。

先生は、それを添削し、結果を「学習記録」に記録します。

ふつうは、この段階ではまちがいません。

例題が解けるようになってから、先へ進みます。

2 応用力を身につける

次に、演習問題を解きます。ノーヒントですが、例題を理解していれば解ける問題です。

解いたら、やはり先生のテーブルの上に置きます。

解けないときは、白紙で提出します。すると、先生が解き方を教えてくれます。

先生は、添削し、記録をとり、答案を返してくれます。

間違っている部分には青いラインが引いてあります。そこを直し、再提出します。

自力で間違いがなおせないときは、「わかりません」といって先生に答案をだします。

すぐに、先生が教えてくれます。

それでも、理解できないときは、もう一度「よく、わからないのですが…」という

先生は、さらに、基本部分から、具体例をあげながら丁寧に教えてくれます。

演習問題は1題しかない学習項目から8題くらいある学習項目もあります。その学習項目の応用範囲の幅によって異なります。演習問題の多い学習項目ほど難しいといえます。

問題番号が進むにつれて難易度が少しずつ上がっていきます。
発展問題というのがありますが、これは入試レベルの学習です。やれる人だけやります。

学習の量について

演習問題をとばすこともあります。これまでの学習を見て、当然解けるはずだと判断される場合です。時間の無駄なので学習しません。

逆に、この問題を解くことは無理だと判断される場合もとばします。考える時間だけ無駄になるからです。

これらは、先生が、予めプリントをセットする段階で決めますが、学習の途中でプリントをセットがら抜くこともあります。

生徒は、自分用にセットされたプリントを、上から順に学習するだけです。

それだけで目標となる解法の技術を習得することができます。

飛ばした問題は、「学習記録」の問題番号に斜線が引いてありますので、わかります。

飛ばした問題も解いてみたいという場合には、申し出ていただければ、プリントをあげます。

学習ノルマはありません。プリント何枚とか問題を何題など、その日に学習すべきノルマなどありません。できるところまでやります。

だから、学習に集中できない人は進みません。

1日に20枚、30枚のプリントを学習できる人もいれば、2～3枚しか学習できない人もです。家で復習しているかどうかで決まります。

解けなかった問題は、次回に再テストがあります。同じ問題です。

これは、家で解けるようになるまで練習してきます。

以下、同じプロセスで学習を進めます。

これがおおまかな90分の学習風景です。

実際の学習シーンについては、おいおいディテールを紹介していきます。

自学自修システムの数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp

数専ゼミで学習する教材については、こちらから実物サンプルをご覧になれます。→

[教材](#)